

基本理念：ひとつの浜松で

目標

- (1) 中山間地域の市民が、ふるさとに愛着と誇りを持ち、今後もいきいきと活躍していくことが出来る地域を目指します。
- (2) 全ての市民が「中山間地域は浜松の宝である。」と思う魅力的な地域を目指します。

重点方針

1. 人の流れをつくる

～市民同士の交流から生まれる地域づくりを推進します～

2. 地域を元気にする

～持続可能な地域運営の仕組みをつくります～

3. 産業の力で地域を潤す

～地域資源の活用により産業を活性化します～

4. 地域をプロモーションする

～地域の魅力を生かして賑わいを再生します～

5. 暮らしを守る

～暮らし続けられる生活環境を確保します～

築く中山間地域の未来

主要施策

①市内間交流の促進

②中山間地域交流プロモーション

③小規模、高齢化集落の維持

④移住・定住の促進

⑤遊休施設の活用

⑥農産物の特産品化、6次産業化の推進

⑦林業の再生

⑧コミュニティビジネスの創出

⑨有害鳥獣対策の強化

⑩地産地消の推進

⑪中核商店街の活性化

⑫歴史的・文化的資産を活用した地域づくり

⑬地域資源を強みにした誘客の促進

⑭地域の交通手段の確保

⑮社会基盤格差の是正

⑯飲料水の安定的な供給

⑰保健、医療、福祉の確保

⑱日常の消費生活の確保

⑲防災対策の強化

概要

交流情報の整理やマッチング体制の強化等により、中山間地域と都市部のあらゆる年代、あらゆる個人・企業・団体などが交流する機会を広げることで、市民同士の主体的交流が、協働へ発展する流れをつくります。

中山間地域に豊富に存在する地域資源や人的資源を交流に結びつけるよう、様々な情報技術やメディアを使い、都市部市民や企業などの協力を得て、広く市民に伝えていきます。

集落同士の連携や、都市部との連携、NPOや企業等との連携、外部人材の活用などにより、集落機能の維持・活性化を進めます。

交流から移住・定住に発展するよう、きめ細かな情報提供や、地域の受け入れ体制の整備を進めます。

廃止となった施設などを活用した地域主体の取り組みを支援し、遊休施設を地域活性化のため積極的に活用します。

茶業をはじめとする、農業を魅力あるものにするため、創意工夫による特産品化、商品化を促進し、若者や移住者が職業として選択できるようにします。

FSC®森林認証を活用した天竜材の高付加価値化により、市場での優位性を確保し、売れる林業への進化を図ります。

地域が主体となって地域課題を解決する仕組みとして、コミュニティビジネス起業の機会を広げます。

有害鳥獣を防除して農林業被害を防止するとともに、獣肉を活用する仕組みづくりを進めます。

中山間地域で生産したものが、直売所、朝市、市内店舗などで販売され、市内の消費者に届くような取り組みを広げます。また、学校給食においては、子どもたちの食育に役立てる取り組みを進めます。

地域を支えてきた商店街の新たな魅力を発信し、地域の顧客だけでなく都市部のファンを増やしていきます。

中山間地域に多くある史跡、有形・無形の文化財、伝統文化・芸能、祭りなどの歴史的・文化的資産を効果的にPRすることで、古(いにしえ)の文化を体感できる地域づくりを進め、都市部市民との交流が生まれる環境をつくります。

豊かな自然環境や農林業体験など、中山間地域ならではの地域資源を強みとして積極的に発信するとともに、農家民宿や民泊などに取り組む体制をつくることで、中山間地域ならではの観光・交流体験を提供し、地域の賑わいをつくります。

通学バス、通院バスなど目的に応じた輸送サービスを提供するとともに、主要幹線である路線バスや支線となる地域バス等、地域の日常生活における交通手段を維持・確保します。

道路ネットワークの整備を行うとともに、情報通信技術を活用することで、地理的に不利な条件を補い、安心して生活できる環境づくりを進めます。

上水道・簡易水道のほか、飲料水供給施設などを衛生的に維持管理し、どの家庭でも、安定して安全な飲料水が確保できるようにします。

必要な人材を確保・育成して、子育て、医療、介護など、必要なサービスを地域で受けられるようにします。

郵便、宅配、お金の引き出しの心配がなく、食料品など日常生活に必要なものが地域で購入できるようにします。

中山間地域の特性を踏まえ、災害情報伝達手段や避難体制を拡充するとともに、土砂災害や橋りょう等の老朽化への対応を強化し、日頃から災害に備えます。

浜松市の中山間地域

【浜松市中山間地域振興計画対象地域】

- 天竜区の全域
- 北区引佐町北部(旧鎮玉村・旧伊平村地域)(大字)
伊平・川名・渋川・四方浄・田沢・兎荷
西久留女木・西黒田・東久留女木・東黒田
別所・的場



中山間地域の魅力と役割

木

浜松市の中山間地域は、面積の9割以上が森林です。森林から産出される木材は、住宅等の建築材料になるほか、近年ではクリーンエネルギーである木質バイオマス燃料等としても注目されています。豊かな森林は山が持つ水源の涵養(かんよう)機能にも貢献し、山に深く根を張った木々は土砂災害などを防いでくれます。

水

浜松市の中山間地域は、浜松全域に必要な水を供給しています。飲料水、工業用水、農業用水など、市民の生活や産業に欠かすことの出来ない水は、この地域から供給されているのです。また、豊富な水資源を生かした水力発電により、電力も供給しています。

土

浜松市の中山間地域は、豊富な養分を蓄えた土があります。山の土に含まれる栄養素は、川を通じて浜名湖や遠州灘に流れ込み、魚をはじめとする水生生物を育て豊かな海をつくります。平地に広がる肥沃な土地も、海に広がる砂浜も、かつては山の土だったのです。現在進めている防潮堤整備にも、中山間地域の土が役立っています。

空

浜松市の中山間地域は、二酸化炭素を吸収し酸素を供給し続けています。また、心の豊かさが薄れがちな現代社会において、恵まれた自然環境など癒しの場を提供し、都市住民のふるさと回帰の求めに応えるなど、都市にはない、ゆったりとした空気感を提供しています。

人

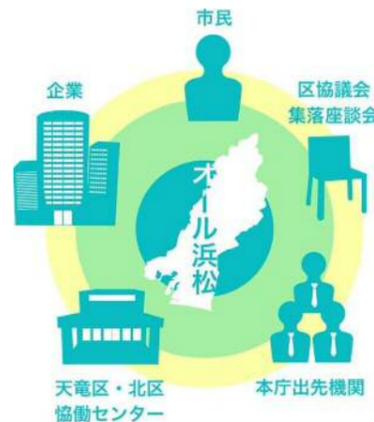
浜松の中山間地域は、人の生活の原点があります。人の手が入った里山にあっても、日々の生活は常に自然と共にあります。豊かな自然の恵みを楽しむ生活の中では、深く温かい人間関係が育まれ、田楽や神楽など農村生活から生まれた様々な伝統文化が継承されています。

中山間地域の課題

- 平地が少なく集落が点在 → 商店、道路など生活環境の維持が難しい。
 - 過疎化による人口減少 → 集落の維持そのものが困難になる。
 - 少子化 → 将来にわたる地域の維持に不安がある。
 - 高齢化 → 地域の生活機能の維持が困難になる。
- 現状の問題や将来への不安から、地域に住む誇りが失われつつあり、地域の賑わい、活力が低下している。

計画の推進体制

計画の推進にあたっては、中山間地域・都市部双方の市民、企業、各種団体と行政がそれぞれの役割を果たすよう、相互に連携してオール浜松体制で取り組んでいきます。



浜松市中山間地域振興計画（概要版）

みんなでやらまいか宣言！

～この計画は、みんなで取り組む中山間地域振興の施策や活動の指針となる理念型の計画です～

基本理念

ひとつの浜松で築く中山間地域の未来

目標

- (1) 中山間地域の市民が、ふるさとに愛着と誇りを持ち、今後もいきいきと活躍していくことができる地域を目指します。
- (2) 全ての市民が「中山間地域は浜松の宝である。」と思う魅力的な地域を目指します。

計画期間

平成27年度から平成36年度まで（10年間）

重点方針・主要施策

重点方針 1 人の流れをつくる

～市民同士の交流から生まれる地域づくりを推進します～

- 主要施策** ①市内間交流の促進 ②中山間地域交流プロモーション

重点方針 2 地域を元気にする

～持続可能な地域運営の仕組みをつくります～

- 主要施策** ③小規模、高齢化集落の維持 ④移住・定住の促進 ⑤遊休施設の活用

重点方針 3 産業の力で地域を潤す

～地域資源の活用により産業を活性化します～

- 主要施策** ⑥農産物の特産品化・6次産業化の推進 ⑦林業の再生 ⑧コミュニティビジネスの創出 ⑨有害鳥獣対策の強化 ⑩地産地消の推進 ⑪中核商店街の活性化

重点方針 4 地域をプロモーションする

～地域の魅力を生かして賑わいを再生します～

- 主要施策** ⑫歴史的・文化的資産を活用した地域づくり ⑬地域資源を強みにした誘客の促進

重点方針 5 暮らしを守る

～暮らし続けられる生活環境を確保します～

- 主要施策** ⑭地域の交通手段の確保 ⑮社会基盤格差の是正 ⑯飲料水の安定的な供給 ⑰保健、医療、福祉の確保 ⑱日常の消費生活の確保 ⑲防災対策の強化